

KUMAMOTO SHINTO General Hospital 病院だより

2014.6
第4号



日本医療機能評価機構



KUMAMOTO
SHINTO
General Hospital

H26年度 診療体制のご案内

医療法人創起会
くまもと森都総合病院

Kumamoto Shinto General Hospital

〒862-8655 熊本市中央区新屋敷1丁目17番27号

TEL: 096-364-6000 (代表)

FAX: 096-362-5204 (代表)

URL: <http://www.k-shinto.or.jp>



KUMAMOTO
SHINTO
General Hospital
病院だより

H26年度 診療体制のご案内

- ごあいさつ
- 新任医師紹介
- 2014年度初期研修医
- 異動のおしらせ
- 肝臓・消化器内科
- 血液内科
- 呼吸器内科
- 循環器内科
- 腎臓内科(透析室)
- リウマチ・膠原病内科
- 外科
- 整形外科
- 皮膚科
- 産婦人科
- 眼科
- 麻酔科
- 放射線科
- 歯科・口腔外科
- 健診センター
- 在宅療養支援

私たちは、質の高い医療を通じて
地域に愛され、
親しまれる病院をめざします。

平成26年度を迎えて

地域医療連携室室長 鈴島 仁



平素より大変お世話になっています。当院は「医療法人創起会 くまもと森都総合病院」となりまして3年目を迎えます。これまでは、県のがん診療拠点病院として“がん診療”に重点をおいてきましたが、今後は昨年から取り組んでおります在宅診療支援病院としての在宅支援、地域の一般診療に関してさらに充実させていきたいと考えております。そのためにも、本年は地域医療連携室の機能をさらに充実させ、医療ソーシャルワーカー（MSW）が患者さんを中心に、診療所と連携しながら地域包括支援センターや訪問看護ステーション、また地域の自治会や民生委員などの多職種とも連携して対応できる体制の充実を構築していく所存です。

今後も地域に必要とされる病院を目指して、これまで以上に顔の見える病診・病々連携を進めていく必要を感じています。皆様方のお力添えの程よろしくお願いたします。

ごあいさつ

法人事務局長 望月 眞一



やがて目にこころに優しい百万色の緑がきらめく若葉の季節を迎えようとしています。

この度4月1日付をもって歴史ある病院の法人事務局長を拝命し着任いたしました。当院は1922年の開設後100周年を前に、病院の新規建替えという大きな課題を眼前にして、英知を結集しその実現に向けて取り組んでいきたいと思っています。

時代の変化は著しく、とりわけ医療を取り巻く環境については、経済や景気の低迷などを背景とした財政主導型の医療制度改革などの影響を受け大きく変わろうとしています。しかしながらいつの時代も、病院の使命は良質な医療を継続的に提供することにより、患者や地域の生命と財産を守ることにあります。

今後も、くまもと森都総合病院が医療の安全と安心を提供しつづける病院として、さらに地域に貢献し続けることができますよう役割を全うしていきたいと思っています。

何卒よろしくお願申し上げます。

「感じて、考えて思いやりのある看護を提供します。」

看護部長 岩橋 奈穂美

平成26年1月1日から看護部長に就任いたしました。私とともに2名の副看護部長も新しくなりました。労務担当副看護部長の瀧本知子、教育担当副看護部長の野中佳美です。新体制で私たちの目指す看護を実現していきたいと思っています。

表題に示しております「感じて、考えて思いやりのある看護を提供します。」は、看護部理念です。患者様の心やからだの異常を五感で感じ、適確に捉え、患者様に何が必要か、何をすべきかをエビデンスを持って考える。そして看護専門職として私たちの持つ能力を駆使し、患者様に満足していただける質の高い看護を提供したいと考えています。



感じて、考えて行動することは私たちの日頃の活動においても大切なことだと思っています。周りの人であったり、環境であったり、出来事であったり、その中にある変化や問題を感じ取り、自分は何をすべきか真剣に考えて行動し、結果を出すことが大事だと考えます。さらに管理においては「正しい判断」「スピード」「フェア・プロセス」「やり遂げる」を重視し、看護部3本の矢を一つにして頑張ります。

未熟な3本の矢ですがご指導、ご鞭撻どうぞよろしくお願いたします。

新任医師紹介



産婦人科部長

永井 隆司

Ryuji Nagai

熊本大学医学部(平成2年卒)
熊本大学大学院(平成10年卒)医博
前任: 国立病院機構熊本医療センター婦人科医長

4月1日付けで産婦人科に勤務することになりました。

平成2年に熊本大学を卒業し、平成12年からは熊本医療センターにて、婦人科悪性腫瘍を中心に診療にあたっていました。

当面は1人で診療することになり、良性疾患の治療が中心になりますが、大学病院や熊本医療センターと連携を図り、今後は悪性腫瘍に対する根治手術や化学療法にも積極的に取り組みたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。



放射線科部長

長谷川 秀水

Hidemi Hasegawa

熊本大学医学部(平成12年卒)
前任: 出水総合医療センター

この度4月より、放射線科に勤務することになりました長谷川と申します。専門はCT、MRI、核医学の読影、Angioです。分野は頭部から胸部、腹部、関節と一般的に取り扱っています。「早く正確な診断」を心がけて日々努力しています。よろしくお願いいたします。



血液内科医師

渡邊 祐子

Yuko Watanabe

鹿児島大学医学部(平成18年卒)
前任: くまもと森都総合病院常勤嘱託医

4月1日より当院で勤務することとなりました。初期臨床研修終了後、熊本大学血液内科に入局し、大学病院と当院(旧NTT西日本九州病院)での勤務後、今年の3月まで大学病院で勤務しておりました。そしてこの度2年振りに当院に戻ってくる運びとなりました。血液内科を中心に腫瘍内科や膠原病内科の診療にあたっていきたいと考えております。まだまだ未熟でご迷惑をおかけするかと存じますが、自分なりに一生懸命頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。



血液内科医師

紺田 みずほ

Mizuho Konda

熊本大学医学部(平成24年卒)
前任: くまもと森都総合病院研修医

4月1日付けで当院に勤務させて頂くこととなりました。当院で初期研修を終え、熊本大学血液内科に入局しました。研修期間中にスタッフの方々には大変お世話になり、引き続き当院で勤務できることを心より嬉しく思っております。まだまだ未熟ではございますが、少しでも皆様のお役に立てるよう努力致しますので、ご指導宜しくお願い申し上げます。

2014年度 初期研修医



穴井 盛靖

Moriyasu Anai

出身大学: 熊本大学(平成26年3月卒業)

最初は非常に緊張していましたが、先生方はじめスタッフの方々に丁寧に指導していただき、少しずつですが業務に慣れることができ大変感謝しております。

色々とお迷惑おかけしますが、これからも御指導よろしく願います。



松見 信平

Shinpei Matsumi

出身大学: 熊本大学(平成26年3月卒業)

まだまだ右も左もわからない状況ではありますが、スタッフの皆様の優しいご指導のもと、日々充実した研修生活を送っています。これからご迷惑をかけることも多いとは思いますが、医師として少しでも成長し、皆様のお役に立てるように精一杯頑張りたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

異動のおしらせ

科/氏名	異動先
婦人科 吉村 寿博	よしむら産婦人科皮膚科クリニック (7月1日開業予定)
放射線科 宮尾 昌幸	荒尾こころの郷病院
放射線科 浦門 忠仁	出水総合医療センター 放射線科
腎臓内科 今西 研	大牟田天領病院 腎臓内科
血液内科 太良 史郎	千葉大学大学院医学研究院 細胞分子医学



肝臓・消化器内科

肝臓・消化器病分野で、関連各科と密に連携できる特徴を活かして、より正確に診断し、患者さまひとり一人に応じた治療ができるよう努力しています。

担当医師



院長
藤山 重俊
Shigetoshi Fujiyama

【担当分野】
・肝臓病学
・消化器病学
(特にウイルス肝炎の
診断・治療・予防、肝臓
の診断と治療)

熊本大学医学部(昭和45年卒)
熊本大学大学院(昭和51年)医博



肝臓・消化器内科部長
宮瀬 志保
Shiho Miyase

【担当分野】
・消化器内科
・肝臓内科
(特にウイルス肝炎の
診断・治療・予防、肝臓
の診断と治療)

佐賀医科大学(平成6年卒)
熊本大学大学院(平成17年)医博



肝臓・消化器内科医長
原岡 克樹
Katsuki Haraoka

【担当分野】
・消化器内科
・肝臓内科

熊本大学医学部(平成9年卒)
熊本大学大学院(平成16年)医博



肝臓・消化器内科医長
大内田 義博
Yoshihiro Oouchida

【担当分野】
・消化器内科
・肝臓内科

熊本大学医学部(平成8年卒)



肝臓・消化器内科医師
束野 奈津美
Natsumi Tsukano

【担当分野】
・消化器内科
・肝臓内科

熊本大学医学部(平成18年卒)

血液内科

血液疾患、特に白血病や悪性リンパ腫などの血液悪性腫瘍を中心に血液疾患全般について診断、治療を行っています。その他にも不明熱患者さまの紹介もお受けしています。

担当医師



内科診療部長
(地域医療連携室長)
鈴島 仁
Hitoshi Suzushima

【担当分野】
・血液疾患
・感染症
・膠原病

熊本大学医学部(昭和61年卒)
熊本大学大学院(平成5年)医博



血液内科部長
下村 泰三
Taizo Shimomura

【担当分野】
・血液疾患
・膠原病
・内科一般

熊本大学医学部(平成4年卒)
熊本大学大学院(平成12年)医博



血液内科医長
藤本 哲広
Tetsuhiro Fujimoto

【担当分野】
・血液疾患
・内科一般

熊本大学医学部(平成7年卒)
京都大学大学院(平成14年)医博



血液内科医師
渡邊 祐子
Yuko Watanabe

【担当分野】
・血液疾患
・膠原病
・内科一般

鹿児島大学医学部(平成18年卒)



血液内科医師
紺田 みずほ
Mizuho Konda

【担当分野】
・血液疾患
・内科一般

熊本大学医学部(平成24年卒)

呼吸器内科

呼吸器疾患の全ての領域について、良質で丁寧な医療とサービスを提供することを念頭に診療を行っています。

担当医師



呼吸器内科部長
いよなが 和宏
Kazuhiro Iyonaga

【担当分野】
・呼吸器内科
・びまん性肺疾患
・呼吸器感染症

熊本大学医学部(昭和63年卒)
熊本大学大学院(平成7年)医博



呼吸器内科医長
松岡 多香子
Takako Matsuoka

【担当分野】
・呼吸器内科
・禁煙外来

熊本大学医学部(平成2年卒)
熊本大学大学院(平成10年)医博

循環器内科

高血圧症患者や脂質異常症患者への心血管病に対する一次予防、および同既往患者の2次予防、心不全の管理治療、不整脈(主として心房細動)の管理治療を中心に行っています。

担当医師



循環器内科部長
藤井 裕己
Hiromi Fujii

【担当分野】
・循環器疾患全般の内
科診療
・心臓超音波

熊本大学医学部(昭和56年卒)
熊本大学大学院(昭和62年)医博

腎臓内科(透析室)

蛋白尿などの検尿異常から、腎機能低下、末期腎不全に至るまでの慢性腎臓病(CKD)の管理を中心としつつ、急性期から慢性期まで腎疾患全般にわたって診療を行っています。

担当医師



腎臓内科医長
みずたり 謙介
Kensuke Mizutari

【担当分野】
・腎臓内科
・血液浄化療法

川崎医科大学(平成5年卒)

リウマチ・膠原病内科

当施設は国立病院機構を中心とした関節リウマチの臨床データベースであるNinJaの協力機関であり、全国の治療動向をふまえた医療を提供できます。

担当医師



リウマチ膠原病内科部長

中村 正

Tadashi Nakamura

【担当分野】

・リウマチ性疾患
(関節リウマチ・膠原病)

熊本大学医学部(昭和55年卒)
熊本大学大学院(昭和59年)医博



リウマチ膠原病内科医師

高岡 宏和

Hirokazu Takaoka

【担当分野】

・リウマチ性疾患
(関節リウマチ・膠原病)

熊本大学医学部(平成16年卒)

外科

消化器外科、一般外科、肛門疾患を中心に治療を行っています。当科の一番の特色は、肝臓治療です。病態に応じて各治療(肝切除・ラジオ波凝固療法・肝動脈化学塞栓療法)などを選択しています。

担当医師



副院長

山中 剛

Tsuyoshi Yamanaka

【担当分野】

・消化器外科
・肝胆膵疾患
・腹腔ヘルニア治療

弘前大学医学部(昭和54年卒)



一般外科部長

佐野 収

Osamu Sano

【担当分野】

・消化器外科
・肛門疾患

島根医科大学(昭和58年卒)



消化器外科部長

岡部 和利

Kazutoshi Okabe

【担当分野】

・消化器外科
・肝胆膵臓外科

熊本大学医学部(平成4年卒)
熊本大学大学院(平成12年)医博



消化器外科医長

小森 宏之

Hiroyuki Komori

【担当分野】

・消化器外科
・肝胆膵臓外科

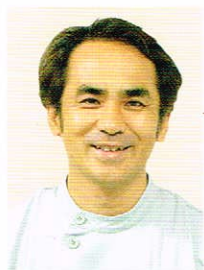
熊本大学医学部(平成8年卒)
熊本大学大学院(平成18年)医博



整形外科

当院の基本理念である「患者様を中心とした医療」、「地域に開かれた医療」、「高度医療の提供」を心掛け、一般整形外科、関節リウマチ、THA、TKAを主体とした関節外科を標榜しています。

担当医師



整形外科部長
飯干 明
Akira Iiboshi

【担当分野】
・整形外科一般
【特に人工関節(股、膝)
・外傷・骨折】

宮崎医科大学(平成4年卒)



整形外科医長
有住 裕一
Yuuichi Arizumi

【担当分野】
・整形外科一般

宮崎医科大学(平成8年卒)



名誉院長
伊勢 紘平
Kouhei Ise

【担当分野】
・リウマチ
・関節外科

熊本大学医学部(昭和44年卒)

皮膚科

皮膚に起こる疾患は、湿疹・皮膚炎、紅斑症、乾癬などの炎症性皮膚疾患、じんましん、薬剤アレルギー、細菌・真菌・ウイルスによる感染性皮膚疾患、水疱症・膠原病などの自己免疫性疾患、腫瘍性皮膚疾患など多岐にわたっており、当科ではそれらのすべてをカバーしています。

担当医師



副院長
城野 昌義
Masayoshi Johno

【担当分野】
・皮膚悪性腫瘍
・皮膚炎症性疾患
・薬疹
・皮膚感染症

熊本大学医学部(昭和48年卒)



皮膚科部長
丸尾 圭志
Keishi Maruo

【担当分野】
・アトピー性皮膚炎
・炎症性角化症
・薬疹

熊本大学医学部(昭和62年卒)
熊本大学大学院(平成5年)医博



皮膚科医師
中嶋 泰治
Taiji Nakashima

【担当分野】
・皮膚科一般

熊本大学医学部(平成16年卒)



皮膚科医師
中山 若菜
Wakana Nakayama

【担当分野】
・皮膚科一般

自治医科大学医学部(平成17年卒)
熊本大学大学院(平成25年)医博



産婦人科

本年度より新体制となり、従来どおり良性疾患の治療に加え、今後は他医療機関と連携を図り悪性腫瘍に対する根治手術や化学療法も展望しています。

担当医師



産婦人科部長

永井 隆司

Ryuji Nagai

【担当分野】
・婦人科腫瘍
・産婦人科一般

熊本大学医学部(平成2年卒)
熊本大学大学院(平成10年)医博

眼科

結膜炎や白内障などの一般的な眼科診療に加え、特殊疾患の治療にも力を入れています。当院眼科では、網膜・硝子体手術を除くほぼ全ての手術が可能です。

担当医師



外科診療部長兼眼科部長

松本 光希

Koki Matsumoto

【担当分野】
・角膜移植
・角膜疾患
・眼感染症
・眼瞼結膜疾患
・白内障手術
・涙道手術

熊本大学医学部(昭和53年卒)
熊本大学大学院(昭和59年)医博



眼科医師

黄 益培

Ekibai Koh

【担当分野】
・眼科一般

鹿児島大学医学部(平成21年卒)

麻酔科

ペインクリニック診療日:月・水・金曜日の午前中

【主な疾患】帯状疱疹、帯状疱疹後神経痛、三叉神経痛、変形性腰椎症、脊柱管狭窄症、複雑性局所疼痛候群(CRPS)など

担当医師



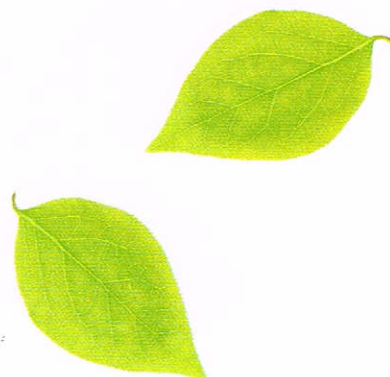
麻酔科部長

大津 哲郎

Tetsuro Ohtsu

【担当分野】
・手術に対する各麻酔
・痛みの治療全般

熊本大学医学部(昭和53年卒)
熊本大学大学院(昭和58年)医博



放射線科

放射線学的診断に力を注いでおり、ほぼその全域をカバーしています。当院では他医療機関の先生方のご依頼に基づきまして外来にて、CT・MRI・RI(骨・肝・脳血流・Ca腫瘍・その他)検査を行っております。直接、放射線科にご依頼いただく予約制となっており、予約待ち時間をほぼ前例2日以内とし迅速な診断を心がけています。

放射線科予約(直通)

TEL.096-364-9792

担当医師



放射線科部長

長谷川 秀水
Hidemi Hasegawa

【担当分野】
・放射線診断学

熊本大学医科部(平成12年卒)



放射線科医長

西 潤子
Junko Nishi

【担当分野】
・放射線診断学

熊本大学医学部(平成5年卒)

歯科・口腔外科

感染対策も含め安心して治療が受けられるよう配慮しています。口腔外科治療は炎症・膿胞・外傷・難抜歯・顎関節症などで、外来のみならず入院下にての治療にも力を入れています。

担当医師



歯科・口腔外科部長

大林 武久
Takehisa Ohbayashi

【担当分野】
・歯科
・口腔外科(小児歯科)

鹿児島大学歯学部(平成2年卒)
熊本大学大学院(平成22年)医博



健診センター

担当医師



健診センター所長
牧野 泰博
Yasuhiro Makino

【担当分野】
・消化器病(内視鏡)
・乳腺疾患

熊本大学医学部(昭和60年卒)
熊本大学大学院(平成7年)医博



健診センター副所長
西東 葉子
Youkou Saitou

【担当分野】
・放射線診断

熊本大学医学部(昭和59年卒)



健診センター医師
佐藤 珠美
Tamami Satoh

【担当分野】
・内科一般
・眼科

熊本大学医学部(平成9年卒)

人間ドックコース

2日コース	身体計測(身長・体重・視力・聴力・血圧・腹囲) 眼圧、眼底検査・胸部X線検査・胃透視(X線検査)・心電図・S状結腸内視鏡検査 血液検査[血液学、生化学、免疫学](貧血、肝臓、腎臓、膵臓、脂質、糖、B型肝炎、C型肝炎、炎症反応、糖負荷) 腹部超音波検査・内科診療・骨密度・栄養指導	47,520円
1日コース	身体計測(身長・体重・視力・聴力・血圧・腹囲) 眼圧、眼底検査・胸部X線検査・胃透視(X線検査)・心電図 血液検査[血液学、生化学、免疫学](貧血、肝臓、腎臓、膵臓、脂質、糖、B型肝炎、C型肝炎、炎症反応) 腹部超音波検査・内科診療・骨密度	37,800円

●胃透視を胃カメラに変更することも可能です。5,400円追加となります。

女性 オプション	乳がん	乳房エコー	3,780円
		マンモグラフィー(2方向)	6,048円
	子宮がん		3,198円

- 熊本市特定健診対象者(国民健康保険者で、40~75歳になる方)は、人間ドック受診の際特定健診費用分(6,740円、ただし非課税国保世帯の方は7,740円)ご本人負担額が少なくなります。
※ご予約時に「特定健診受診券」をお持ちの旨をお伝えください。
- 2日コースはご自宅からの通院となっております。宿泊を希望される場合は、ご紹介致します。
(入院ドック料金には宿泊費は含まれておりませんので、別途請求させていただきます。)

熊本市がん検診 がん検診無料クーポン対象者の方は、無料です。

検診名	対象となる方	検診内容	自己負担金	受診日
子宮頸がん検診	20歳以上で年度内に偶数年齢となる女性	問診・視診 内診・細胞診	1,200円	月~金 午前 月・火 午後
乳がん検診	40歳以上で年度内に偶数年齢となる女性	問診・視診・触診 マンモグラフィー	40歳代の方 1,500円 50歳以上の方 1,100円	月~木 午後のみ
大腸がん検診	年度内に40歳以上になる方	問診 便潜血検査	500円	月~金 午前・午後

お問い合わせ先

健診センター TEL.096-364-6000(内線3555)
 年末年始・お盆等休診がございます。
 予約受付時間/月~金曜(土・日・祝日を除く)午前11時~午後4時

当院は、平成25年9月1日より
「在宅療養支援病院」となりました。

在宅療養中のバックベッドとしてご利用できます。

在宅療養中の急変時の入院ベッドを確保しています。
(ただし、脳疾患・心疾患の急性期には対応できません。)
24時間受け入れ体制を整備しておりますので、下記までお電話ください。

時間内	8:30 ~ 17:00	TEL.096-364-6021
時間外	17:00 ~ 8:30	TEL.096-364-6000

皮膚科専門医 訪問診療

在宅主治医、ケアマネージャー、患者さま・ご家族の依頼に応じて、皮膚科専門医が往診いたします。これまで、褥瘡・類天疱瘡・かゆみ・胃瘻、人工呼吸器接続部のかぶれなどに対して往診を行っています。

お問い合わせ・お申込み窓口	
往診日	水曜・木曜の午前中
TEL.096-364-6021	FAX.096-364-8585

(月～金 8:30～17:00)

レスパイト入院

在宅療養中の患者さまと介助なさっているご家族が安心して在宅医療を続けていただくための支援として、レスパイト入院を行っています。常時医療管理が必要な患者さんが在宅で療養されており、介助者の事情により在宅で介助が一時的に困難になった場合に、患者さまが短期入院(おおむね1週間)する仕組みです。

介助者の事情とは、介助者の休養(レスパイト)、疾病やけが、出産、冠婚葬祭など

当院の在宅医療についてのお問い合わせ・お申込み窓口	
TEL.096-364-6021	FAX.096-364-8585

(月～金 8:30～17:00)